

令和4年度進捗評価シート
桑折町歴史的風致維持向上計画（平成28年3月28日認定）
（最終変更令和4年3月30日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画実施のための組織体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観行政団体への移行と景観計画策定	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業	3
2 旧伊達郡役所周辺整備事業	4
3 西根堰及び水路修景事業	5
4 屋外広告物等の景観に配慮した改善に対する助成事業	6
5 歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業	7
6 歴史・文化財学習講座事業	8
7 小中学生の認識向上推進事業	9
8 観光・歴史・文化財等総合ガイダンス施設整備事業	10
9 周遊性向上・案内板等整備事業	11
10 桑折宿周遊拠点整備事業	12
11 文化財等保護活動団体及び歴史を活かしたまちづくり団体への支援事	13
12 地域の文化遺産の調査及び継承支援事業	14
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定など	15
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災に関する取組など	16
3 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など	17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 「桑折の児童が案内人に 西山城跡の魅力発信」他	18
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 観光入込客数の推移について	19
法定協議会等におけるコメント	20

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和4年度
計画実施のための組織体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 計画を管理する教育文化課・建設水道課が事務局となり、計画策定時と同様に関係各課で構成する「庁内推進会議」にて連絡調整を行う。また、国や県の関係機関と協議を行い、適切な支援を得る。桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会において、計画推進や変更、事業の実施に向けた協議を行い、事業を推進する。必要に応じ、都市計画審議会や文化財保護審議会、文化財所有者、関係団体などと連絡・調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建設水道課都市整備係と教育文化課生涯学習係が事務局として、庁内推進会議で事業の実施に係る調整、情報収集、進捗管理等を行った。

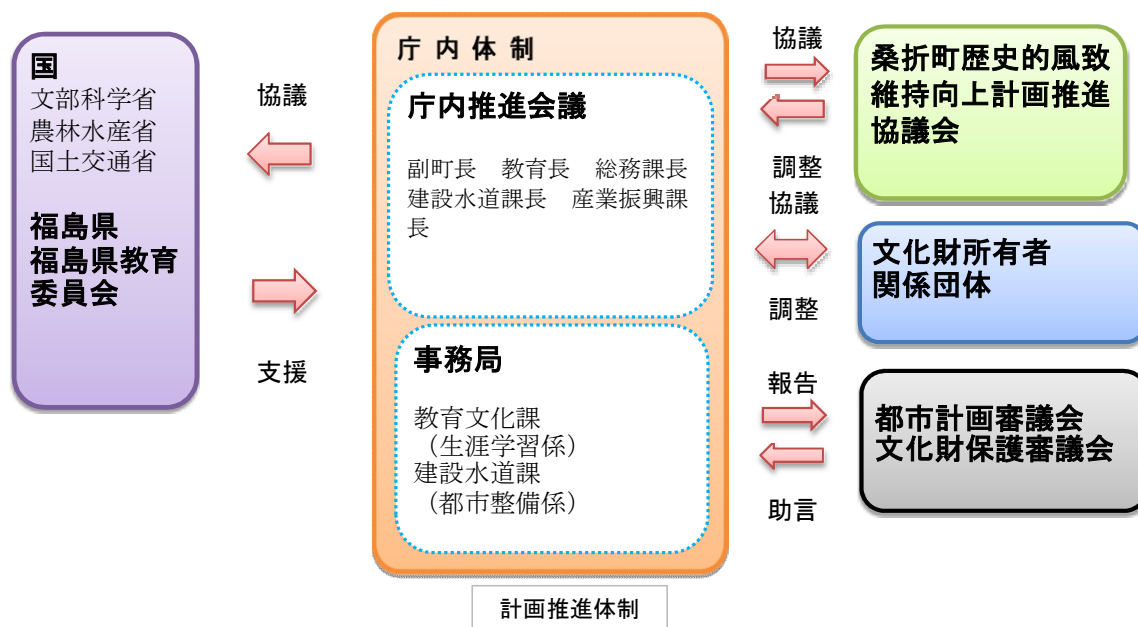
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

庁内体制の中で、担当課の連携を密にし、事業を実施していく。

状況を示す写真や資料等



組織の変更

令和3年度～ 教育文化課と建設水道課が事務局となる

会議の状況

桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会

第8回 令和4年6月8日

庁内推進会議 令和4年5月31日

文化財保護審議会 令和4年7月12日



桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和4年度
景観行政団体への移行と景観計画策定		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	福島景観計画に沿った規制を行う。また、重点区域内における建築物や工作物の建築・色彩の変更、開発行為その他の土地の形質の変更など一定の行為の制限に、自然と歴史的風致が一体となった良好な景観が形成されるよう町独自の制限を追加するため、景観行政団体への移行と景観法に基づく町独自の景観計画の策定を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
住民理解、合意が得られておらず、実施困難と判断し、計画策定には着手しなかった。 歴史的建造物を保存するため、「登録有形文化財制度」を活用した事業に着手した。 ・令和4年度調査建造物、栗花家住宅、無能寺山門 2件			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない		計画策定には着手していない。関係課で連携し、景観計画策定の有無について、今後の方針を決めていく。	
状況を示す写真や資料等			

登録有形文化財登録候補建造物



栗花家(石田屋) R4調査



無能寺山門 R4調査



旧伊藤家(藤屋) R5以降調査



旧齋藤家(扇屋) R5以降調査



桑折駅駅舎 R5以降調査



桑折駅油庫 R5以降調査



諏訪神社 R5以降調査



桑折町地図。登録有形文化財登録候補建造物(赤枠)、指定文化財建造物(青枠)、地震による被災後・解体された建造物(黄枠)を示す。

登録有形文化財登録候補建造物

 指定文化財建造物

 地震による被災後・解体された建造物

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	桑折宿内に残っている歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物について、修理・修景する際の費用の一部を助成し、定期的に一般に公開する。また、未指定の歴史的建造物についても、街道に面している部分を修景する場合の費用の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国の登録有形文化財制度を活用し、登録に向けての調査を行った。他自治体の事例を参考に、国登録有形文化財への助成制度の検討を開始した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		福島県沖地震により、歴史的建造物の多くが解体された。残されている歴史的建造物や景観の保存、保全のため、国登録有形文化財制度も活用しながら、これ以上の減失を防ぎ、歴史的風致の維持向上を図る。	
状況を示す写真や資料等			



登録有形文化財登録候補の栗花家(石田屋)(歴史的風致形成建造物候補)



登録有形文化財登録候補の無能寺山門

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
旧伊達郡役所周辺整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成31年度～令和7年度	
支援事業名	都市再生整備計画事業(社会資本総合交付金事業)、国宝重要文化財等保存修理事業費補助金	
計画に記載している内容	旧伊達郡役所の周辺について、道路の美装化や無電柱化(地中以外の手法を含む)。旧伊達郡役所の柵やトイレの改修など良好な町なみを維持できるよう、景観に配慮した整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
福島県沖地震により被災した建物本体を災害復旧保存修理事業として修理し、再開館させた。郡役所周辺を「歴史文化エリア」として位置づけ、郡役所南側遊休地を活用した事業を検討し、拠点施設設置のための用地として土地購入を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和3年2月、令和4年3月の福島県沖地震により被災した旧伊達郡役所の修理を災害復旧と保存修理を併せた工事を完了させ、12月より再開館した。周辺整備の成果として、保存・活用事業の充実を図る。	
状況を示す写真や資料等		
 旧伊達郡役所災害復旧保存修理事業 令和3、4年の福島県沖地震による災害復旧と外壁塗装等経年劣化部分の保存修理を同時に実施。  歴史文化エリア整備事業 旧伊達郡役所の南側にあった工場が撤退、建物が解体され、跡地が売地となったことから、周辺を歴史文化エリアと位置づけて観光交流の拠点となる施設の整備の検討に入った。		

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
西根堰及び水路修景事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和3年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 重点区域内の西根堰や西根堰から分水する水路について、歴史的建造物が残っている部分の保存・維持を図るとともに、歴史的風致が色濃く残る場所に子供や大人が集まり楽しめる親水性のある空間として、復元・整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「西根上堰における江戸時代の技術を用いた用水路の縦断測量による歴史的価値の確認」事業(都市環境デザイン会議東北ブロック、日本大学理工学部まちづくり工学科西山・天野研究室主催)への共催
江戸時代前期に高度な測量技術を用いて開削されたとされる西根上堰について、近世の測量用具を復元した実証実験を共催、支援した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐計画どおり進捗している
☒計画どおり進捗していない

事業期間以前より、周知や機運醸成のためのソフト事業を中心に実施してきた。今後、歴史的建造物としての西根堰について、現在は3面コンクリート化されているため、かつての様子がわかる解説板、案内板を設置し、後世に伝える。

状況を示す写真や資料等



江戸時代の測量技術を体感するため復元測量用具を使って実験(令和4年11月13日開催)。都市環境デザイン会議東北ブロック、日本大学理工学部まちづくり工学科西山・天野研究室主催。小学生をはじめ、多くの町民が参加し、西根堰に対する認識を深めた。

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
屋外広告物等の景観に配慮した改善に対する助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度～令和7年度

支援事業名 都市再生整備計画(社会資本総合交付金事業)

計画に記載している内容 重点区域内の歴史的風致を形成する建造物等の周辺に存在する屋外広告物のうち、歴史的風致の風情を阻害する屋外広告物を景観に配慮したものに改修する場合、費用の一部を補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

登録有形文化財登録推進事業の中で、登録文化財の屋外広告物を景観に配慮した改修への助成を検討した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐計画どおり進捗している
☒計画どおり進捗していない

歴史的建造物が2度の福島県沖地震で被災、解体等される中、事業の見直しを図るため、③-1「桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業」と併せて実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等



桑折宿の町並み景観保存

福島県沖地震により、歴史的風致維持向上建造物指定候補であった「旧鈴木家蔵」などが解体された反省から、歴史的建造物の登録有形文化財への登録を推進し、保存を図る準備を進めた。

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	平成28年度～令和7年度
支援事業名	町単独事業、福島県再生加速化交付金
計画に記載している内容	歴史や文化財を活かしたまちづくりや街並みや桃源郷の風景などの景観の維持・向上に関する住民向けの講演会やシンポジウムを開催する。また、史跡桑折西山城跡の完了後、「全国山城サミット連絡協議会大会」の誘致を目指す。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
令和4年7月31日 桑折西山城バスツアー(43名参加) 令和4年10月15日～10月16日 桑折西山城まつり 城攻めウォークKOORI2022(1,500名参加) 旧伊達郡役所リニューアルオープン記念「こおりプレミアムX'mas」(800名参加)	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	桑折西山城関連事業は、「全国山城サミット桑折大会」アフター大会として保存団体として設立された「桑折西山城を守る会」と共同開催。保存団体の育成及び史跡の活用事業の継続を図ることができた。地震による被災から修復された郡役所の活用を図り、次年度以降への継続のきっかけを作ることができた。
状況を示す写真や資料等	



令和4年10月15日 城攻めウォークKOORI2022 1日目
城郭ライター萩原さちこ氏とお城博士ちゃん 栗原響大氏の対談



令和4年10月15日 城攻めウォークKOORI2022 2日目
歴史案内人と桑折西山城跡を巡る城攻めツアー



桑折西山城跡バスツアー
伊達武将隊と桑折西山城はじめ、伊達氏ゆかりの地を巡る。町の味覚や特産の桃狩り体験を含め、関係交流人口の核Iを図った。



こおりプレミアムX'mas
令和5年12月24日
旧伊達郡役所災害復旧保存修理事業完了したため、リニューアルオープン記念事業として実施

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
歴史・文化財学習講座事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業・福島県再生加速化交付金

計画に記載している内容 本町の歴史的風致への理解を求め、地域住民を対象に本町の歴史や文化財に関する学習講座を開催する。また、桑折町文化財保存会と連携しながら町内の小・中学生を対象に出前講座や現地説明会等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年10月16日 桑折西山城まつり 2日目 萩原さちこ氏による「山城ワクワク講座」
 歴史案内人勉強会の開催・桑折町子ども歴史案内人育成講座の開催

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

史跡桑折西山城跡をはじめとする歴史遺産について、町を挙げて若い世代を中心に引き継ぐ意識の向上を図ることができた。

状況を示す写真や資料等



城攻めウォークKOORI2022 萩原さちこ氏山城講座
 ウォーキングに合わせ3階開催。桑折西山城本丸特設ステージで山城について語る



桑折町子ども歴史案内人育成講座
 町内全4小学校から6年生18名が参加。「城攻めウォーク」にて成果発表



桑折町歴史案内人学習会
 桑折西山城まつり城攻めウォークKOORI2022参加のため、案内人が自主的に勉強会を開催

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
小中学生の認識向上推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 町内の小中学校と協力しながら、後世への伝承者である小中学生に本町の歴史や文化遺産に関する知識を持ってもらうため、桑折町を総合的にかつ分かりやすく説明する教材を作成するとともに、桑折町文化財保存会やボランティアガイドと連携し、実地説明を行うなど、子供たちが体験しながら学べるような授業を開発する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町内各小学校6年生が総合学習で桑折西山城跡ほか、郷土史学習を行った。
 ・教室で座学による授業と現地学習(講師:町学芸員)
 ・学習した桑折西山城について、桑折町こども歴史案内人育成講座を開催して更に学習を深め、「桑折西山城まつり 城攻めウォーク2022」で発表、来訪者の案内を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない
 各学校と連携して、歴史案内人や町学芸員による学校側による郷土学習への派遣を継続し、学習から発表(学外を含む)までの一連のカリキュラムを作ることが課題。こども歴史案内人事業も継続し、郷土の歴史に興味を持つ若い世代を育成していくことが必要である。

状況を示す写真や資料等



令和4年6月16日 陸合小学校総合学習

昨年に引き続き、町内各小学校で「桑折西山城跡」を総合学習で取り上げた



令和4年6月23日 半田醸芳小学校総合学習

半田地区特有の歴史を学ぶため、半田銀山遺跡や半田山を見学する郷土学習



桑折町こども歴史案内人育成講座

町内4小学校から6年生18名が参加。桑折西山城まつり城攻めウォークKOORI2022で成果を発表



城攻めウォークKOORI2022 こども歴史案内人による桑折西山城紹介

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
観光・歴史・文化財等総合ガイダンス施設整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和3年度～令和7年度

支援事業名 都市再生整備計画(社会資本総合交付金事業)、町単独事業

計画に記載している内容 桑折宿にある歴史的風致形成建造物の指定候補で使われていない空き店舗や公共施設の空きスペースを活用し、中心市街地の賑わいを創出できるような人々の交流機能を持ちながら、観光や歴史、文化財などを総合的に案内する施設を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年2月及び令和4年3月の福島県沖地震により、桑折宿にある歴史的風致形成建造物が複数被災した。総合ガイダンスとして想定していた建造物も解体されたため、ガイダンスの整備等について今後十分な議論が必要となった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

新総合計画において位置付けている「歴史文化エリア」の周辺整備について、歴史観光の中心となるような交流施設を設置できないか検討した。

状況を示す写真や資料等



旧伊達郡役所南側の工場跡地について、歴史文化エリア中核施設用地として取得、あり方の検討を図った。

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
周遊性向上・案内板等整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	平成28年度～令和7年度
支援事業名	都市再生整備計画事業(社会資本総合交付金事業)、町単独事業
計画に記載している内容	町民や来訪者が、歴史的建造物や文化財等を楽しみながら効率よく巡ることができる散策ルートを検討・設定する。併せて、今後作成する案内板等の作成基準となる統一デザインを定めるとともに、散策ルートに合わせた案内板や案内標識、説明板の新設や更新を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	

老朽化して見えにくくなった旧伊達郡役所の表札板を修理し、再開館を機にリニューアルした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	現状と合わなくなった案内板の更新や新規設置等、既存の案内板の維持管理をしながら設置、更新を検討。併せて周遊拠点となるような駐車場やポケットパーク、案内板の整備も行うため、3-10桑折宿周遊拠点整備事業と併せて検討する必要がある。
状況を示す写真や資料等	



旧伊達郡役所表札版修理

風化により見えにくくなっていた旧伊達郡役所の表札を災害復旧保存修理事業完了後の再開館に合わせて修理、一新した。

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
桑折宿周遊拠点整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和3年度～令和7年度

支援事業名 都市再生整備計画事業(社会資本総合交付金事業)、町単独事業

計画に記載している内容 来訪者が桑折宿を散策する際に安心して休憩できる場所として、空き地を活用し街道沿いに駐車場や休憩できるポケットパーク的な施設や案内板等を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

桑折宿の歴史的建造物が福島県沖地震で被災し、解体されるなどしたため、周遊拠点となるような施設の設置の見直しを図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

新総合計画において位置付けている「歴史文化エリア」の周辺整備について、駐車場や休憩できるポケットパーク的な施設、案内板等を設置できないか検討した。拠点となる場所と周辺の案内板等の整備との整合性を取るため3-9「周遊性向上・案内板等整備事業」と併せて実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等



旧伊達郡役所南側敷地取得

総合計画で教育文化エリアとして位置づけられた旧伊達郡役所周辺で桑折宿周遊の拠点となる施設を想定し土地を取得。



桑折宿案内板整備

旧伊達郡役所を中心に案内板、解説板、標柱を設置計画作成。更新予定の旧伊達郡役所総合案内板

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
文化財等保護活動団体及び歴史を活かしたまちづくり団体への支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和42年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業、福島県文化財保存活用事業補助金

計画に記載している内容 文化財等の保存・活用に関わっている団体や歴史を活かしたまちづくり団体と連携しながら、本町の歴史や文化財保護等の啓発を行う活動や後継者育成のための事業などの支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

補助対象

指定文化財保存修理事業等補助: 桑折寺山門(県重文)、観音寺観音堂(町文)火災報知設備、大安寺涅槃図(町文)
 保護活動、まちづくり団体補助: 桑折町文化財保存会: 桑折西山城を守る会

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	文化財の保存活用団体とさらに連携を密にしながら、活動や事業の支援を進めていきたい。また、福島県沖地震等による被災から、文化財の修理事業補助等の支援を行っていく。

状況を示す写真や資料等



桑折寺山門保存修理事業

県補助事業を活用し、令和4年3月の福島県沖地震により被災した県重要文化財桑折寺山門を修理。



桑折西山城を守る会設立総会

史跡桑折西山城の保存修理団体立ち上げにあたり、町が団体事業に対し、補助金を支出し支援。



観音寺観音堂自動火災報知設備設置事業

町指定文化財観音寺観音堂に自動火災報知設備を設置するにあたり、町が文化財保存修理事業補助金を支出して支援。



大安寺涅槃図保存修理事業

町指定文化財涅槃図(大安寺所蔵)の保存修理を行うにあたり、町が文化財保存修理事業補助金を支出して支援。

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
地域の文化遺産の調査及び継承支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	調査:平成28年度～令和2年度 継承支援:平成28年度～令和7年度	
支援事業名	町単独事業	
計画に記載している内容	町内には詳細な調査・研究がされてこなかった歴史的建造物や文化財、祭礼などの文化遺産が多く残っている。それらの総合的な把握と記録保存などの学術的な調査を行い、データベース化を図る。併せて、活動ができるよう、伝統的な用具や衣装の修繕や担い手育成などの活動に対して、調査に基づく支援を適正に行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
京都祇園囃子保存団体が指導する半田釀芳小学校4年生に桑折西山城まつり城攻めウォークKOORI2022のオープニングで京都祇園囃子を披露。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	桑折町祇園ばやし振興会解散以来、京都祇園囃子等の伝統技能継承のため、事業等において出演機会の提供を行っている。次年度以降も継続し、支援としたい。	
状況を示す写真や資料等		



桑折西山城まつり城攻めウォークKOORI2022
 半田釀芳小学校4年生 半田銀山祇園ばやしをオープニングで披露。郷土芸能「京都祇園囃子」を披露

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目	現在の状況	
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定など	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	これまでの調査・研究を活かし、現状及び実態の把握に努め、リストアップしデータベース化する。文化財指定がふさわしいと判断されたものについては、指定に向け取り組む。歴史的建造物については、以前の調査結果を活用しながら、調査を行う。祭礼や伝統行事などの無形民俗文化財について、次世代に残すために調査・記録保存をする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
文化財指定、登録のための調査: 観音寺観音堂(県指定候補調査)、無能寺山門(登録有形文化財登録のため) 開発に伴う埋蔵文化財調査: 播磨館跡試掘調査 桑折町文化記念館保管資料の再整理: 福島県沖地震により桑折町種徳美術館が被災したため、収蔵・保管している美術品、古文書、半田銀山資料の再整理。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	福島県沖地震によって桑折町種徳美術館が被災した。施設のあり方や美術品、古文書などの資料の保存・活用について、検討が必要になっている。	
状況を示す写真や資料等		



登録有形文化財登録に向けての調査

旧桑折宿北町栗花家店蔵で新築年代を記した墨書銘を確認。建築年代が明らかになった。



栗花家住宅の登録有形文化財文化庁調査

桑折宿の歴史的建造物を登録有形文化財登録に向け調査した。



播磨館跡試掘調査 伊達氏一族桑折氏の居館跡(遺構・遺物ともに検出されなかった)。

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災に関する取組など		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	文化財の修理や整備にあたっては、法令に基づき、また、文化庁等の関連機関の指導を受けつつ実施する。民間所有の文化財の修理にあたっては、補助金等の支援を行い、各種財団等の補助制度の活用を行う。文化財周辺の整備は、当該文化財や周辺環境との調和のとれたものとする。防火対策は、法令に基づいた適切な予防対策をとり、文化財防火デーの取り組みなどで文化財保護への関心を高める。	
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で		
・本年5月に発足した「桑折西山城を守る会」が、従来、町で行ってきた「桑折西山城草刈ボランティア」を継承して開催した。（2回開催）。 ・令和3年2月、令和4年3月の福島県沖地震で被災した旧伊達郡役所の災害復旧・保存修理を完了した（令和4年12月20日完成）。 ・文化財防火デーの取り組みとして、重要文化財「旧伊達郡役所」で防火訓練を行った。 ・宗教法人観音寺が文化財補助制度を活用し、町指定文化財観音寺観音堂の自動火災報知設備を設置。 ・宗教法人桑折寺が、令和4年3月の福島県沖地震で損じた桑折寺山門を、県文化財補助制度を活用して修理した。		
進捗状況※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		地元住民の文化財に対する深い理解と多大なる協力のおかげで実施できている取り組みである。今後も継続して取り組んでいきたい。
状況を示す写真や資料等		



旧伊達郡役所災害復旧保存修理事業

令和3年2月、令和4年3月の福島県沖地震で損じた旧伊達郡役所の修理事業に着手。同時に経年劣化部分も修理する。文化庁調査官の完成検査。



旧伊達郡役所放水訓練

文化財防火デーに合わせて実施(令和5年1月29日)



観音寺観音堂自動火災報知設備設置事業

宗教法人観音寺が、町指定文化財観音寺観音堂に自動火災報知設備を設置。町指定文化財補助制度を活用。



桑折西山城跡草刈りボランティア

本年度より「桑折西山城を守る会」主催で実施

6月11日(土) 参加者140名

10月1日(土) 参加者140名

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

令和4年度	
項目	現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	桑折西山城跡等の文化財について歴史講座を開催したり、歴史や文化財を活用したイベントなどを行い、認識を深める。パンフレットやマップ、案内板、ボランティアガイドなどを充実させる。文化財保護団体や伝統芸能団体への支援を行い、活発な活動を行えるようにする。
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で	
桑折西山城まつり 城攻めウォークKOORI 2022 全国山城サミット桑折大会アフター大会として、今年度結成された桑折西山城を守る会との共催で開催。（1,500人参加） 旧伊達郡役所プレミアムクリスマス 災害復旧保存修理工事が完成した旧伊達郡役所再開館事業として、コンサート、子ども向けイベント等を開催。 こおりウインターイルミネーレ 重要文化財旧伊達郡役所イルミネーション、ライトアップほか、2会場で開催。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	桑折西山城跡はじめ、旧伊達郡役所や半田銀山遺跡など、地域の歴史遺産を活かした事業を、民間との協働も行いながら取り組んでいく。
状況を示す写真や資料等	



桑折西山城まつり「城攻めウォークKOORI 2022」
令和4年10月16日、17日
於 桑折西山城跡
1,500人 参加



桑折西山城まつり「城攻めウォークKOORI2022」
歴史案内人が桑折西山城跡を案内



「旧伊達郡役所プレミアムクリスマス」
令和4年12月24日
修理事業が完成した旧伊達郡役所でコンサートほかイベント



「こおりウインターイルミネーレ」
旧伊達郡役所をイルミネーションとライトアップ
令和4年12月20日～令和4年1月4日

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
桑折西山城守る会設立		令和4年5月13日	福島民報
桑折の児童が案内人に 西山城跡の魅力発信		令和4年10月3日	福島民報
旧伊達郡役所24日公開再開		令和4年12月14日	福島民友
文化財火災から守れ		令和5年1月30日	福島民友
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地元紙を中心に、民間の文化財保存団体結成や文化財修理の完成による再開館、防火訓練の開催について報道された。また、桑折町こども歴史案内人が桑折西山城まつりで学習の成果を披露することが事前に報道され、次世代に継承することや、文化財活用イベントのPRともなった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし		記事を読んでイベントに参加したり、歴史遺産等を訪れてみたくなるケースが多いので、事前・事後に記事にしてもらえよう、情報発信に努めたい。	
状況を示す写真や資料等			
○「桑折西山城を守る会」設立 福島民報 令和4年5月13日 「桑折西山城守る会設立 国史跡の保存と継承目指す」 来月、草刈活動 町と連携 10月にまつり ○「桑折町こども歴史案内人育成講座」開催 福島民報 令和4年10月3日 「西山城の魅力発信 桑折の児童が案内人に」 15日の本番へリハーサル ○「国重要文化財旧伊達郡役所修理工事完成、再開館」 福島民友 令和4年12月14日「旧伊達郡役所 24日公開再開」 桑折 1年10カ月ぶり ○「文化財防火デー旧伊達郡役所防火訓練」 福島民友 令和5年1月30日「文化財 火災から守れ」 旧伊達郡役所一斉放水			

項目

観光入込客数の推移について

計画に記載
している内容

歴史的風致の維持向上を図ることで、町民の意識が向上し、観光を中核とした交流人口の増加が期待される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

新型コロナウイルス感染症拡大による影響で減少した観光客数は、回復のきざしは見られる。桑折西山城跡来場者は、昨年の全国山城サミット開催やテレビで取り上げられた反響により、来場者が増加している。旧伊達郡役所は、修理工事のため、12月まで閉館していたが、再開館記念事業の開催もあり、12月～3月の実績は例年より多い。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり
□計画の進捗に影響なし

「伊達武将隊と行く桑折西山城」バスツアーや「城攻めウォーク2022」旧伊達郡役所リニューアルオープン記念「こおりプレミアムX'mas」などの事業が開催できるようになり、コロナ禍の中ではあったが、観光客数は回復のきざしがある。

状況を示す写真や資料等



伊達武将隊と行く、桑折西山城！

仙台圏をターゲットとした歴史バスツアー。桑折西山城跡など、桑折町の歴史、産業、味覚を堪能
参加者 43名



歴史まちカードの配付

国土交通省東北地方整備局管内の歴史的風致向上計画認定都市で11月より配布を開始(桑折町役場・桑折町文化記念館で配布)

令和4年度実績 306枚

桑折町の観光入込客数の推移

平成28年度 135,282人
平成29年度 114,240人
平成30年度 146,991人
令和元年度 112,010人
令和2年度 46,074人
令和3年度 72,042人
令和4年度 78,045人

旧伊達郡役所入館者数

平成27年度8,881人、平成28年度10,256人、
平成29年度5,594人、平成30年度10,397人、
令和元年度3,906人、令和2年度3,090人、
令和3年度149人、令和4年度1,649人

桑折町種徳美術館入館者数(閉館中)

平成27年度2,064人、平成28年度2,679人、
平成29年度1,606人、平成30年度1,899人、
令和元年度1,822人、令和2年度1,559人
令和3年度750人、令和4年度0人

桑折西山城跡来場者数

平成27年度405人、平成28年度370人、平成29年度486人、
平成30年度804人、令和元年度1,939人、令和2年度700人、
令和3年度2,781人、令和4年度7,615人

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 令和5年11月20日	
(コメントの概要) ・地震により歴史的建造物が失われたから、景観計画を策定し、景観団体となるのは困難という理由にしているが、国文化財の旧伊達郡役所など、残されている建造物がある。その周辺で景観が悪化しないよう景観計画を策定し、歴史的風致を維持向上していくのが基本。計画を策定できない、2期に移行できない理由になっていないのではないか。 ・景観団体になるため、町民への情報提供や、合意形成を行っていない。シンポジウム開催や、景観を考える集会、跡継ぎがない店舗などへの「担い手」の養成などをしないと、歴史的建造物は守れない。仕組みづくりから考えるべき。 ・「桑折御蔵」「まゆたま」など、民間で活用してきた歴史的建造物が地震で被災して公費解体されてしまった。将来的に解体を予定している歴史的建造物もある。解体すればもとには戻せない。民間が媒体となって電柱地中化など景観を考えてきたが、現在はこのような状態だ。 ・登録有形文化財では、点での保護であり、線・面での保護にはならない。逆に「文化財」として強い規制が加わると思われて逆効果になる可能性がある。 ・登録有形文化財にこだわりすぎである。もっと歴史的風致の維持・向上の視点で考えてほしい。 ・建物を覆う看板を外しただけで歴史的建造物が現れるのであれば、「屋外広告物修景助成事業」を削除するのではなく、「桑折宿の歴史的建造物の修景助成事業」に統合すべき。 ・小中学生の学習には、外で発表するということが大切である。このような場をさらに設定すべき。時代とともに歴史的評価も変わってくるので、西山城、郡役所だけでなく、広く歴史を面的に取り上げてほしい。 ・歴史講演会、学習会にしても、町で主催して終りでは意味がない。歴史編纂や講演会に町民が参加できるよう、成果を根付かせる努力をして欲しい。	
(今後の対応方針) ・歴史的風致の維持向上について、委員の方からいただいた意見を参考に、変更計画の見直しも図り、事業を展開していく。 ・「桑折町歴史的風致維持向上計画」の2期計画移行について引き続き検討を行う。	